

神戸大学 海事科学部

創基100周年記念事業募金趣意書

海事科学教育研究は国家百年の大計

— 次なる100年の飛躍を目指す海事科学部・海事科学研究科 —



1919年当時(創基2年目)の私立川崎商船学校 深江キャンパス



2015年の神戸大学海事科学部 深江キャンパス

神戸大学海事科学部
創基100周年記念事業実行委員会

募 金 趣 意 書

神戸大学海事科学部の祖である私立川崎商船学校は、大正6年(1917年)9月に、六甲山南麓の白砂青松で名高い深江浜に設立され、船舶職員養成教育を始めました。そして、平成29年(2017年)に、神戸大学海事科学部として創基100周年を迎えることとなります。この間に神戸高等商船学校、神戸商船大学と変遷を遂げましたが、海事分野を中心として我が国産業界全般の根幹を支える幾多の有為な人材を輩出してきました。

神戸商船大学は、平成15年(2003年)10月に神戸大学と統合し、神戸大学海事科学部となりましたが、100年先の将来においても、これまでに築き上げた偉業を継承し、開学以来蓄積してきた海事及び関連分野の教育研究実績を基盤として、より一層の充実発展を期するところです。

平成19年(2007年)には海洋基本法が制定され、その後には海洋基本法の実効を高めるために海上輸送の確保、海洋の安全確保及び海洋科学技術に関する研究開発の推進等の12項目の活動目標を設定した海洋基本計画が二度にわたって公表されました。これらの12項目は、神戸大学海事科学部にとって国家の付託と理解しており、今後の教育研究対象の中核としております。このような社会変革と要請に対応するために平成19年4月に神戸大学大学院自然科学研究科を改組して、世界の海事分野でも例のない独立した大学院海事科学研究科が発足いたしました。また、平成25年(2013年)4月には開闢以降初めて、自らの理想を求めて学科改組を行いました。一方で、最近の国立大学法人を取り巻く社会環境は、激的な変革期に入っております。その影響するところは、大学の根幹である教育と研究及び運営体制等のすべてに及んでおります。海事科学部及び海事科学研究科は、今後の神戸大学全学の教育研究改革に積極的に対応していこうと決意しております。

今般、創基100周年を迎えるに当たっての記念事業を実施することは、海事科学部及び海事科学研究科の教育と研究の更なる充実、国際海事研究センターの発展及び附属練習船深江丸の代替新造船の実現を推進しようとするものです。この取り組みは海事社会及び関連する産業界に対して大いに意義あることと存じます。そして、この意義ある記念事業を実施するために資金を募ることと致しました。募金目標金額は8億円、募金期間は平成29年12月までを予定しております。卒業生諸氏はもとより、広く関連業界その他諸方面のお力添えを賜りたく、何卒この趣旨に御賛同くださいますと、本目標達成に格別のご高配を賜りますよう、切にお願い申し上げます。



海事科学研究科附属練習船深江丸 (449 G/T)



川崎商船学校、神戸高等商船学校、神戸商船大学の門柱を復元したモニュメントを設置(平成28年3月設置)

主要記念事業の内容は、次のとおりです。

1. 深江丸及び代替船の運航支援
附属練習船深江丸及び代替新造船運航の充実
2. 国際海事研究センター支援
本研究科の特色のある海事研究の充実
3. 100周年記念館（仮称）の外壁改修
深江キャンパス全体の段階的改修に対応して、本学部の原点である私立川崎商船学校及び神戸高等商船学校の趣を改修後の建屋に再現することによりシンボル建屋を具現化する
4. 深江キャンパスの学生アメニティの充実
学生食堂の改修

平成28年4月吉日

神戸大学海事科学部創基100周年記念事業実行委員会委員長
神戸大学大学院海事科学研究科長・学部長

内田 誠

神戸大学海事科学部創基100周年記念事業募金委員会委員長
一般財団法人神戸大学海事科学振興財団会長

芦田 昭充

神戸大学海事科学部創基100周年記念事業募金委員会副委員長
神戸大学海事科学部同窓会 海神会会長

久保 雅義

募 金 要 項

1. 募金団体

神戸大学大学院海事科学研究科（海事科学部創基100周年記念事業）
研究科長 内田 誠

2. 募金目的

神戸大学海事科学部創基100周年記念事業の実施

3. 募金目標金額

8億円

4. 寄附の振込方法

同封の払込用紙（赤色4連式）申込書に住所・電話番号・氏名・（フリガナ）・金額等の必要事項をご記入の上、金融機関窓口にてお振込みください。

5. 募金の期間

平成27年8月から平成29年12月までを予定しています。

6. 寄附金の免税措置

当寄附金は、税制上の優遇措置を受けることができます。

ご入金いただきますと「寄附金領収書」をお送りします。「寄附金領収書」は確定申告に必要となりますので、大切に保管ください。

〈所得税の優遇措置〉

寄附金額（寄附金の合計額が総所得金額等の40%を上回っている場合、総所得金額等の40%）から2千円を除いた額について所得控除を受けることができます。

〈個人市民税の優遇措置〉

神戸市市税条例により指定を受けていますので、本学に寄附した翌年の1月1日に神戸市にお住まいの方は、個人市民税の税額控除を受けることができます。

寄附金額（寄附金の合計額が総所得金額等の30%を上回っている場合、総所得金額等の30%）から2千円を除いた額に6%を乗じた額が、寄附した翌年度の個人市民税から軽減されます。

7. お問い合わせ先

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1 神戸大学大学院海事科学研究科
事務長補佐 小田 伸治
電 話 078-431-6215, FAX 078-431-6309
E-Mail: 100kinen@maritime.kobe-u.ac.jp
(担当係：企画係(電話 078-431-6211))